

# 令和6年度 志教育全体計画

宮城県柴田農林高等学校川崎校

校 訓
質実剛健・自律調和

本校の教育目標
1 自他の命を大切に、高い志と思いやりの心を持つ、心身共に穏やかな人間を育成する。 2 自ら学び自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育成する。 3 様々な体験活動を通じ、人との交流の大切さを実感させ、倫理観、規範意識を育成する。 4 勤労と責任を重んじ、地域社会の発展に寄与する人間を育成する。

生徒の実態、教師の願い
○地元から登校する生徒が大部分を占め、素朴で性格の素直な生徒が多い。 ○家庭学習の習慣が定着していない生徒が過半数を占め、自分の学力不足を認識しており、学力に自信がない。 ○教師は主体性や使命感、責任感をもった社会人になって欲しいと願っている。

保護者や地域の願い
○地域の人々とのかかわりを大切に、地域に貢献できる社会人になって欲しい。 ○地域を明るく元気にする活躍をして欲しい。

「志教育」の目標
㊦ かかわりあいを大切に、良い人間関係を築く川校生 ㊧ わかるまで粘り強く努力し、困難に立ち向かう川校生 ㊨ 先々まで見通し、自らの生き方を考え行動する川校生 ㊩ 郷土を大切に、自らの役割をすすんで果たす川校生

重点指導事項			
人と『かかわる』	よりよい生き方を『もとめる』		社会での役割を『はたす』
㊦「かかわり合いを大切にする」	㊧「わかるまで努力する」	㊨「先々まで見通す」	㊩「郷土を大切にする」
視点	視点	視点	視点
○さまざまな人とのかかわりを通してコミュニケーション能力を高くし、自己理解や他者理解を深化させる。 ○集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。	○学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させ、わかるまで努力させることにより、わかる喜びや達成感を味わわせ、わかるまで粘り強くものに当たる資質を育てる。	○自らの進むべき未来を見据えて、社会に役立つ人間として自分で考え行動するなど自立心を持ち、自らの在り方生き方について主体的に探求させる。	○市内の各学校及び各団体との交流やボランティア活動を通して、積極的に地域に関わることで、自己有用感を高めさせ、自分に自信を持たせる。 ○地域貢献をとおして、コミュニケーション力、正義感、責任感を高め、積極的に行動できる人間を育成する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	○丁寧できめ細やかな学習指導をとおして、学ぶ意欲と自信を回復させ、自己有用感を高める。各教科の知識・技能を学ぶ過程で、その知識・技能と社会とのかかわりや職業との関連について取り上げる。
道徳	○教育活動全体をとおして、人や社会とのかかわり、自分の在り方や生き方、社会で果たすべき役割などの考えを深め、望ましい職業観を養うよう支援する。
総合的な探究の時間	○地域と連携して川崎町の教育資源（人材・社会・文化等）と関わる中で、多角的な視点を持って地域の良さや課題等に主体的に関わり、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えながら社会性や勤労観を養い、現状や将来において、よりよい生き方を主体的に求めていく態度を育成する。
特別活動	○学校生活が集団でのルールをもとに成り立つことを学び、集団の構成員として自覚し、行動できる能力を高くする。 ○生徒会行事の企画・運営や自主的な活動をとおして、協力が奉仕の精神を養い、安全によりよく生きるための力を高くする。
その他	○部活動において、心身を鍛えるとともに、地域の中で活動することを通して自律・協調・奉仕の精神や態度を養う。また、困難に立ち向かいそれに打ち勝つ体験を積ませる。 ○岩沼高等学園川崎キャンパスとの交流を通じて、共生社会への関心を高める。

各学年の取組内容	
1年	○学校生活をとおして、地域社会での自分の役割を果たせるように基本的な学力や基本的な生活習慣を育てる。 ○学校行事や学年HRによって生徒相互の信頼関係を築き、社会性や協調性を身につけさせる。 ○学年団と保護者・生徒との信頼関係を築き、自分の進むべき未来を探求する力をつけさせる。
2年	○学校内外での活動をとおして、生徒相互・生徒教員間の信頼関係・協調性を深めるとともに、コミュニケーション能力や自立心・責任感などの社会人にむけて必要な能力を高める。 ○基礎学力の向上を図るとともに、行事や部活動等、教育活動全体をとおして、進路意識を高める指導を行う。
3年	○各教科の基礎基本と一般常識をしっかりと身につけさせる。 ○社会人としての礼儀、生活ルールを確立させる。 ○高校3年間の志教育の成果として、希望する進路の達成が叶うように指導する。

家庭との連携
○三者面談、授業参観や学校公開、PTA行事等をおして「志教育」について的主旨を説明し、協力を呼びかける。 ○生徒の将来の生き方・あり方について、保護者と十分に話し合い、家庭と学校が共通の認識を持って、生徒の望ましい社会的自立のかたちを考え、その実現のために協力して指導にあたる。

地域・企業との協働
○福祉施設での奉仕作業、JAまつり・ボランティアサマーフェスタへの協力、川崎レイクサイドマラソンの運営ボランティア、社会福祉協議会と連携した雪かきボランティアへの参加、川崎町役場総務課（防災担当）との避難所設置訓練等を通じ、地域社会の一員としての自覚をもたせる。